

研究課題番号	3-1709
研究課題名	廃棄物の高度な地域熱利用のための技術・社会システムに関する研究
研究実施期間	平成29年度～令和元年度
累計予算額	48,598 千円
研究機関名	国立研究開発法人国立環境研究所
研究代表者名	藤井 実

## 1. 評価者の指摘及び提言概要

中間報告時のコメントによく対応し、廃棄物エネルギーの有効利用を回収段階、社会インフラの形成、それを踏まえた最適立地の検討をしたことは総合性があって良い。実際のEUでの廃棄物熱利用の合理的システムをモデルにしながら検討している点も評価でき、今後の環境政策への貢献も大いに期待できる。しかし、この種の課題では、何らかの具体的事例について現実化しなければ意味がないと思われる。実際の清掃事業は市町村責任でほぼ一般財源で賄われていることから、経済性の感覚が極めて低い状況が余熱の有効利用を消極的にしている。この点を打破し、本研究の成果を具体的事例につなげるための手順や方法についてのガイドが期待される。

## 2. 評点

総合評点：A